

# 法律學專攻

模擬問題  
【前期課程】

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
憲法演習 I	氏名：	

憲法尊重擁護義務の主体と内容について、例を挙げながら論じてください。

その際、「立憲主義」というキーワードを用いて、その意味も交えながら論じてください。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
行政法演習	氏名：	

(問題) 取消訴訟における処分性について説明したうえで、行政計画に処分性が認められるかについて、行政計画の種類と最高裁判所の判例の変遷をふまえて論じなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
税法演習	氏名：	

●次のⅠ、Ⅱのうち一つだけ選び、解答しなさい。

Ⅰ 一時所得について、学説・判例の動向に照らして論じなさい。

参照条文 所得税法より

第34条第1項：「一時所得とは、利子所得、配当所得、不動産所得、事業所得、給与所得、退職所得、山林所得及び譲渡所得以外の所得のうち、営利を目的とする継続的行為から生じた所得以外の一時の所得で労務その他の役務又は資産の譲渡の対価としての性質を有しないものをいう。」

同第2項：「一時所得の金額は、その年中の一時所得に係る総収入金額からその収入を得るために支出した金額（その収入を生じた行為をするため、又はその収入を生じた原因の発生に伴い直接要した金額に限る。）の合計額を控除し、その残額から一時所得の特別控除額を控除した金額とする。」

Ⅱ 権利確定主義について、学説、判例の動向に照らして論じなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
刑法演習 I	氏名：	

以下の①、②のいずれか一つを選択して解答しなさい。

①刑法における故意について述べなさい。

②Xは、たまたま記帳したところ、見知らぬ振り込み人から100万円が振り込まれていることに気づき、間違いなくこれは誤振込みであると思ったが、金策に困っていたのでちょうど良いと思い、銀行窓口で全額を引き出した。Xの罪責を論じなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
刑法演習Ⅱ	氏名：	

次の2問の中から1問を選択して解答しなさい。

1. 不真正不作為犯について論じなさい。
2. 委託物横領罪と背任罪の区別について論じなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
刑事訴訟法演習	氏名：	

問 強制処分法定主義と令状主義との関係について論じなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
民法演習 I	氏名：	

問 民法 719 条 1 項前段の共同不法行為の成立要件であるいわゆる「関連共同性」について判例の立場、学説の対立状況などを説明せよ（800 字以内）



## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
民法演習 I	氏名：	

問 契約自由の原則とその制限について、現代の社会における例を挙げつつ説明しなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科 目 名	受験番号：	採 点 欄
民法演習Ⅱ	氏 名：	

問題 Xは、公用地の取得を行うA区の土地開発公社であり、Yは、ふっ素製品の製造業者である。

A区の要請を受けて、XはY所有の土地を20億円で購入し(平成3年1月)、引き渡しを受けた。本件土地には、ふっ素が含まれていたところ、このことについて売買契約当時法令上の制限はなく、取引通念上もふっ素が人体に影響のあるものとは観念されていなかった。

その後、平成13年に土壤に含まれるふっ素に関する法規制が定められた。平成17年に、同法における基準に基づき本件土地のふっ素を調べたところ、基準値を超える値(最高で基準値の1200倍)が検出された。そこで、Xは、本件土地について土壤汚染対策措置を講じた(費用12億円)。XはYに対して、土壤汚染対策費用相当額の支払いを請求した。認められるか。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
民法演習Ⅲ	氏名：	

約款の開示とは、約款契約においてどのような意義があるかを論じなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
商法演習	氏名：	

次の2問のうちから1問を選択し解答しなさい。

1. 保険契約者または被保険者が告知義務に違反した場合には、どのような効果が生ずるかを説明しなさい。
2. 責任保険において、被害者の救済を確保する手段にはどのようなものがあるかを説明しなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
労働法演習	氏名：	

設問 次の2つの問題のうち、いずれか1つを選んで論じなさい（両問解答は不可）。

【問題A】有期契約労働者に対する「不合理な労働条件」を禁止する労働契約法20条について、①有期契約労働者と無期契約労働者との間の労働条件格差の「不合理性」（あるいは「合理性」）判断はどのように行われるか、また、②両者の間の労働条件格差は不合理であり、同条違反が成立するとされた場合の救済方法はどうか、これまでの学説や裁判例で示された考え方を説明しながら、あなたの考えを論理的に述べなさい。

（参考）労働契約法20条（期間の定めがあることによる不合理な労働条件の禁止）：「有期労働契約を締結している労働者の労働契約の内容である労働条件が、期間の定めがあることにより同一の使用者と期間の定めのない労働契約を締結している労働者の労働契約の内容である労働条件と相違する場合においては、当該労働条件の相違は、労働者の業務の内容及び当該業務に伴う責任の程度（以下この条において「職務の内容」という。）、当該職務の内容及び配置の変更の範囲その他の事情を考慮して、不合理と認められるものであってはならない。」

【問題B】Xは、ファースト・フード・チェーンを展開するM社直営店の店長である。Xは、店舗の責任者として、アルバイトの採用や勤務シフトの決定等の人事管理を担い、M社のマニュアルに従って店舗の運営を行ってきた。店長は、その業務の一環として、M社で開催される店長会議等の各種会議に参加するが、これらの会議では、M社全体の営業方針・戦略、人事方針等の伝達が行われる程度で、店長自身がM社の経営方針等の決定に関与することはない。Xの勤務実態は、早朝から店舗に出勤してその運営に当たり、退勤が深夜に及ぶことも珍しくなく、時間外労働は多い月には137時間にも及び、また、連続63日間稼働ということもあった。M社における店長の処遇は、評価によって決められ、S評価（店長全体の20%）の店長は年額779万円、A評価（同30%）は696万円、B評価（同40%）は635万円、C評価（同10%）は579万円である（C評価の店長の年額は、下位職位のアシスタントマネージャーの年収より低くなる）。

M社は、店長は労働基準法41条2号の「管理監督者」に該当するとして、時間外、休日労働の割増賃金を支払っていないが、このような取扱いは法的にみてどのように評価すべきか。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科 目 名	受験番号：	採 点 欄
経済法演習	氏 名：	

医師会は、大学医学部における教授の医師派遣の権限を維持することによって医師の偏在を防止し、地域医療の質の確保に貢献することを目的として、100床以上の入院ベッド数を有する病院ではフリーランス医師を雇用すべきではないとの考えを示した。これに同調する主要な大学は、フリーランス医師を雇用した病院に対して、当該大学医局からの医師の派遣を見合わせてきた。関東地方に所在し、100床以上の入院ベッドを有する総合病院グループ運営する医療法人A、およびAと同規模の病院グループを運営する医療法人Bでは、このような医師会、大学医学部の意向を忖度し、フリーランス医師の派遣を行う人材派遣コンサルタント会社Kとの業務委託契約を打ち切った。AおよびBが運営する病院は、関東地方の病院の急性期入院用病床の約40%を占めている。Kはこのことによって、関東地方での業務委託元のうち、健康保険組合が運営する検診センターや企業内の医務室勤務の医師の派遣を除く大半の業務委託元を失った。これら一連の行為の中に独占禁止法違反となるものがあるか、あるとすれば誰の、どのような行為が、独禁法違反となるか、答えなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科 目 名	受験番号：	採 点 欄
国際法演習	氏 名：	

無主地（terra nullius）を対象とした先占による国家領域の取得について論じなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
法哲学演習	氏名：	

以下の設問に答えなさい。

(1) 古代日本の律令制の導入と、近代における西洋法の導入との相違を、為政者層の狙い及び当時の人々の「国民」意識の観点から説明しなさい。(50点)

(2) いわゆる「トロリー問題」において前頭前皮質腹内側部に損傷がある患者は、通常の脳を持つ者と異なる判断を下すことをダマシオらの研究班が発表した。この発表自体が現代正義論にどのような意味を持つのか、説明しなさい。(50点)



## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科目名	受験番号：	採点欄
法社会学演習	氏名：	

次の問題に答えよ。

1. 川島武宜『日本人の法意識』（岩波新書、1967年）の著述内容を簡単に説明した上で、その内容に対するあなた自身の見解を論じなさい。
2. 法社会学の学問的性質という観点からみて、川島武宜『日本人の法意識』における法意識論自体の問題点を指摘し、法意識論という研究手法の学術的な妥当性について、あなた自身の見解を論じなさい。

## 法学研究科 法律学専攻（博士課程前期課程）

科 目 名	受験番号：	採 点 欄
英米法演習	氏 名：	

## 1. Translate the following passage into Japanese.

It may not be a crime in Italy to take food from a shop without paying when homeless and hungry, the country's highest appeal court has recently decided.

The appellate court threw out the conviction of a homeless Ukrainian man who was caught trying to take cheese and sausages from a shop in Genoa without paying for them. The lower court in Genoa had sentenced him to six months in jail and a small fine.

The appellate court wrote in its decision: 'The condition of the defendant and the circumstances in which the merchandise theft took place prove that he took possession of that small amount of food in the face of the immediate and essential need for nourishment, acting therefore in a state of need'. The taking of the goods without paying for them, therefore, 'does not constitute a crime'.

The appellate court's decision was more favourable to the accused than he had hoped when instigating his appeal. He had 'stolen' out of need, and had appealed in the hope that the court might set a more lenient sentence.

The appellate court relied on the legal doctrine, '*Ad impossibilia nemo tenetur*' ('No one is expected to do the impossible') in reaching its decision. A professor of criminal law at Luiss University said that the application of the doctrine in a shoplifting case 'has a certain novelty'. When the courts apply the defence of necessity, it has generally been in cases such as a castaway who fights with another victim of a shipwreck for the last raft to save his life.

On the decision, one commentator has observed: 'The decision is a new principle, and it might lead to a more frequent application of the defence of necessity linked to poverty situations'.

## 2. Do you think the decision of the appellate court is a good one?

In English, give your reason or reasons.

## 3. Had the accused in this case used violence, should that have

affected the decision? In English, give your reason or reasons.